

生存論破

緋影真央#無印

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

生存論破本編です。

主権に文才はありません許して下さい。
創作論破となります。

目次

0章0話ある二人の絶望前話

1

0章0話ある二人の絶望前話

- ▼希望プログラムを絶望プログラムに書き換えます。
- ▼書き換え完了。
- ▼未来機関職員五名の生存を確認。
- ▼未来機関職員五名の死亡を確認
- ▼黒幕の生存を確認。
- ▼黒幕の捕獲を確認。
- ▼元超高校級十六名の入場を確認。
- ▼error
- ▼error
- ▼error

カタカタと鳴らせていたキーボードの音が止み、
エラーが出ている画面を見ながら少女は言う

「あはつとても素敵ですわねこれはとても絶望的ですわ」

▼参加者の人数の変更を確認しました。

▼これより絶望プログラムを開始します。

プログラムが起動し、建物中の監視カメラが一斉に作動を始めた
彼女は次々と倒れていく元超高校級達を眺めながら
自分達が絶望として始めるゲームに心を躍らせながら彼が帰って
来るのを待っていた。

「楽しそうだね」

何かを引きずる音と共に少年が全身を血で染めながら
自らも同じように笑いながら部屋に入ってくる

「勿論楽しいわ会長もでしょうっ？」

彼女は少年が連れてきた者の側に行く
キョロキョロと辺りを見渡して

